新任医師のご紹介

一人一人の患者様に寄り添った診療を

原土井病院 内科 近藤 誠司（せいじ）

令和3年7月1日より原土井病院に赴任いたしました内科の近藤誠司と申します。

愛媛県松山市の出身で、昭和54年九州大学医学部入学後、福岡の地に足を踏み入れてからは約42年間九州人として過ごしてまいりました。

昭和60年に当時仁保喜之教授が主宰されていた九州大学医学部第一内科に入局し、内科医として医師人生をスタートしました。九州大学および松山赤十字病院での一般内科研修を終了後、昭和63年より九州大学腫瘍センターで血液内科医の道に進みました。

私の進みました血液内科は主に白血病などの血液がんを扱う診療科です。九州大学第一内科では、つねに最新の医療の進歩を取り入れる精神とともに、「一人一人の患者様に寄り添う診療」の心を学びました。研究面ではG－CSF（顆粒球コロニー刺激因子）受容体の各種細胞における同定を行い、九州大学医学部の学位を授与いただきました。臨床面では、当時開始されたばかりの造血幹細胞移植患者様を中心とした診療に従事しました。

平成3年からは県立宮崎病院医師、平成5年からは宮崎医科大学（現宮崎大学）輸血部講師として、宮崎県での血液がんの患者様の診療に携わりました。

平成8年から11年まではカナダトロント市にありますオンタリオ癌研究所（Amgen研究所）でT細胞受容体の発見者であるTak Mak教授の元でがんと免疫の基礎的研究にも携わらせていただきました。そこでマウスIRF5（インターフェロン調整因子）遺伝子のクローニングおよびその遺伝子欠損マウス作成に成功しました。この研究を元に東京大学免疫学教室の谷口維紹名誉教授との共同研究でIRF5が自然免疫に重要な役割を果たしていることを見出し、平成17年にはNature誌に発表することもできました。またその後このIRF5が全身性エリテマトーデスおよび関節リウマチをはじめ多くの膠原病の発症に関与していることを見出すことが出来ました。

平成11年帰国後は早良病院で一般内科診療に従事後、平成17年から5年間九州医療センター血液内科医師、医長として再び血液がんの患者様の診療に従事いたしました。また、九州医療センターでは骨髄バンクからの骨髄移植を立ち上げることができました。

平成22年からは前任の佐賀県医療センター好生館で、血液内科部長として11年間、約1200名の主に血液がんの患者様の診療に従事いたしました。佐賀県は骨髄バンクからの骨髄移植ができない唯一の県だったのですが、平成30年に佐賀県でも骨髄バンクからの骨髄移植を立ち上げることができ、少しでも血液がんの患者様のお役に立てたのではと思っております。

令和二年に健康を害したこともあり福岡の地に戻ることを決意いたしました。この際にあらためて「健康の大事さ」とわずかではありますが「ご病気を抱えた患者様のお気持ち」に触れることができました。かねてより原土井病院原寛理事長の提唱されている「人生百年時代を乗り切る生き方」に共感しておりましたこともあり、このたび私が原土井病院に勤務させていただけるようになりましたことを深く感謝しております。

原土井病院の理念にあります「博愛」、「病める人の視線に立った高齢社会に貢献する」ことを目標に内科医として「一人一人の患者様に寄り添った診療」のお手伝いができれば幸いです。

現在コロナ禍により地域の皆様はお疲れになられていると思います。これまで培った血液がん患者様の診療の知識、経験を生かして、地域の患者様、ご家族様の今後のよりよい診療、健康、生活のお役に立てるように尽力していきたいと思っております。宜しくお願いいたします。

プロフィール

略　歴
- 昭和60年 九州大学医学部卒業
- 昭和60年 九州大学医学部第一内科入局、九州大学病院内科研修医
- 昭和61年 松山赤十字病院内科研修医、医師
- 昭和63年 九州大学病院第一内科、輸血部医員
- 平成３年 宮崎県立宮崎病院内科副医長
- 平成５年 宮崎医科大学医学部附属病院輸血部講師
- 平成８年 カナダオンタリオ癌研究所（Amgen研究所）ポストドクトラルフェロー
- 平成11年 早良病院内科部長
- 平成17年 九州医療センター血液内科医師、医長
- 平成22年 佐賀県立病院好生館（現佐賀県医療センター好生館）血液内科部長
- 平成24年 佐賀大学医学部臨床教授
- 平成31年 日本内科学会評議員

所属学会　日本内科学会、日本癌学会、日本リウマチ学会、日本老年医学会、日本造血細胞移植学会、日本血液学会、日本臨床腫瘍学会、日本骨髄腫学会

資　格　日本内科学会認定医、指導医、評議員（～2021.3）
日本内科学会総合内科専門医
日本血液学会専門医、指導医、評議員
日本造血細胞移植学会認定医
九州大学医学部医学博士

専門分野　血液疾患一般、内科一般